

平成 25 年 10 月 2 日

熊本県水産研究センター 資源研究部
tel 0964-56-2511, fax 0964-56-4533
http://www.suiken.pref.kumamoto.jp/

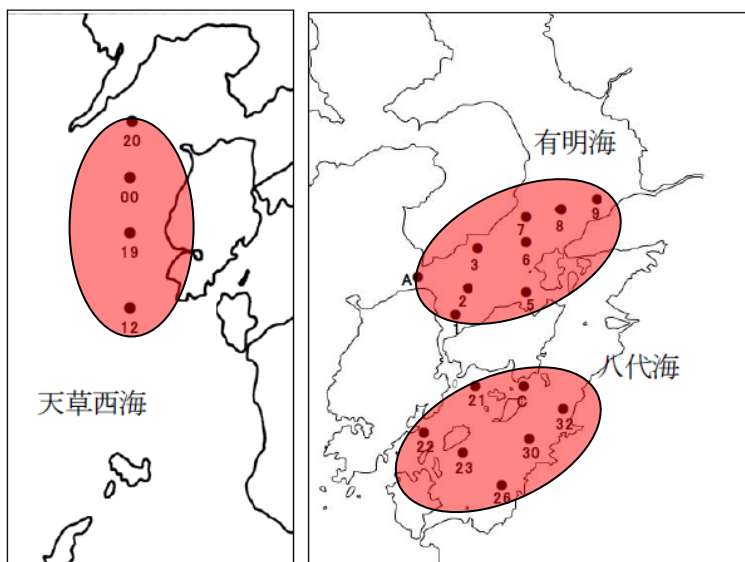
仔稚魚モニタリング結果概要（H25. 5～7 月調査分）

水産研究センターでは、毎月 1 回、本県の重要な魚類の仔稚魚の発生状況について調査し、漁獲予測等への活用を目指しています。

今回は、5～7 月調査分から、カタクチイワシとマダイ仔稚魚の調査結果についてお知らせします。なお、調査定点は下図のとおりで、採集方法は、円形稚魚ネット（直径 1.3m）で、昼間に表層及び中層曳きにより採集しています。

1 調査地点

有明海 9 地点、八代海 7 地点、天草海 4 地点で行いました。

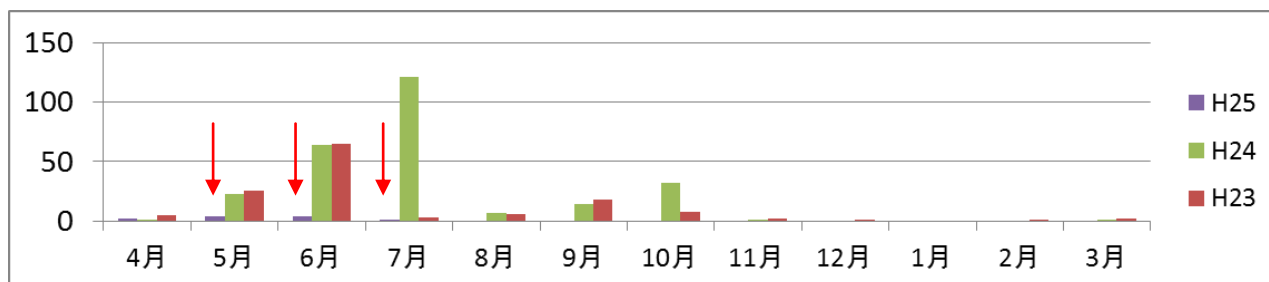


2 結果概要

(1) カタクチイワシ仔魚

5～7 月の出現数は、有明海及び八代海では過去 2 ヶ年と比べ少なめ、天草海では多かった H23 と同等の傾向を示しました。

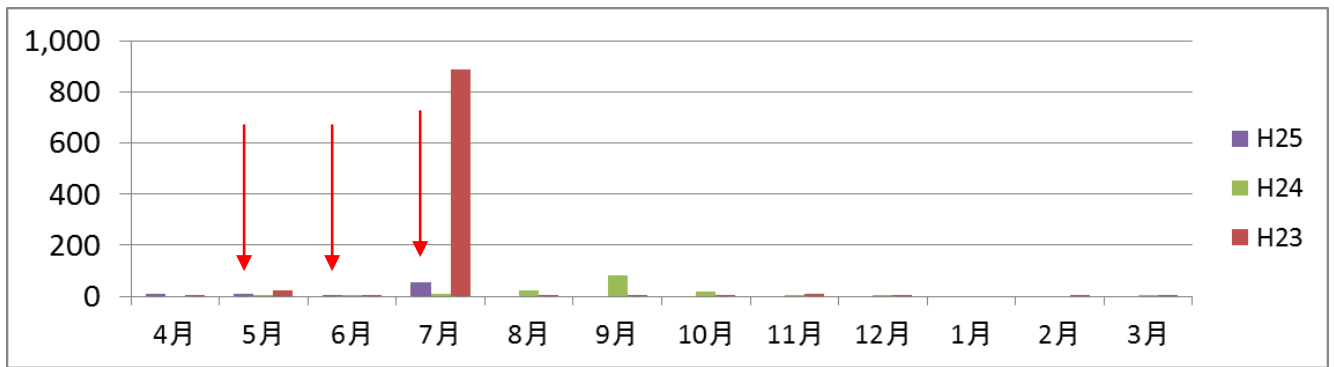
有明海



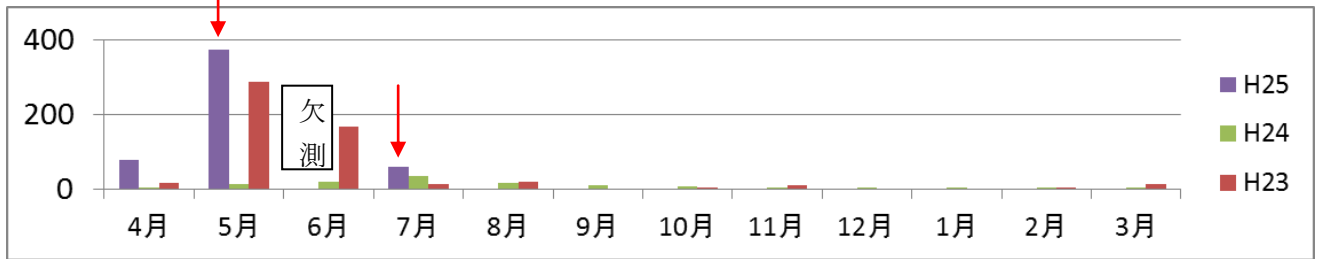
※数値はすべて海水 1,000m³ 当りの出現数です。

また、海域ごとに平均化しています。（以下同じ）

八代海



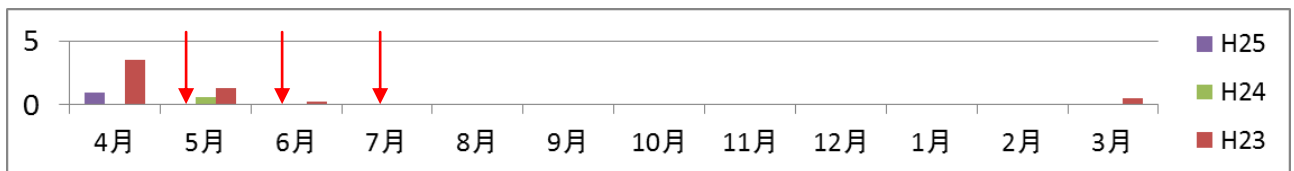
天草海



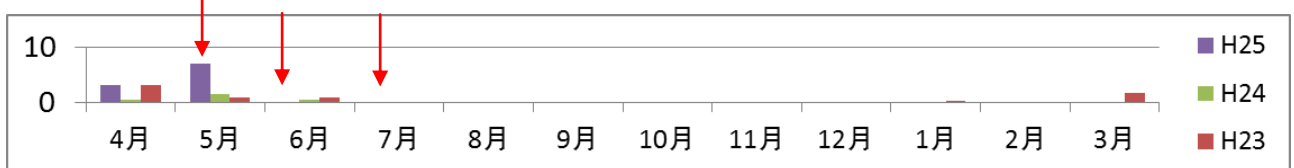
(2) マダイ仔魚

5～7月の出現数は、H24が3海域ともほとんど確認されていないので、H23との比較では、八代海の5月が多めであったものの、それ以外では少な目でした。

有明海



八代海



天草海

